

令和6年度 安城市環境報告書



目 次

1	安城市環境報告書について	1
2	第2次安城市環境基本計画の進捗状況	3
3	令和5年度アクションプラン実績	
	柱1 生活環境保全	4
	柱2 自然・都市共生	8
	柱3 資源循環	10
	柱4 地球温暖化対策	12
	土台 環境学習・環境行動	14
4	課別一覧表	15

1 安城市環境報告書について

安城市は、令和3年3月に令和12年度（2030年度）を目標年次とした計画期間を10年とする第2次安城市環境基本計画（以下、第2次計画）を策定しました。第2次計画では、目指す理想とするまちを「環境負荷の少ない、人と自然が共生しているまち」としています。

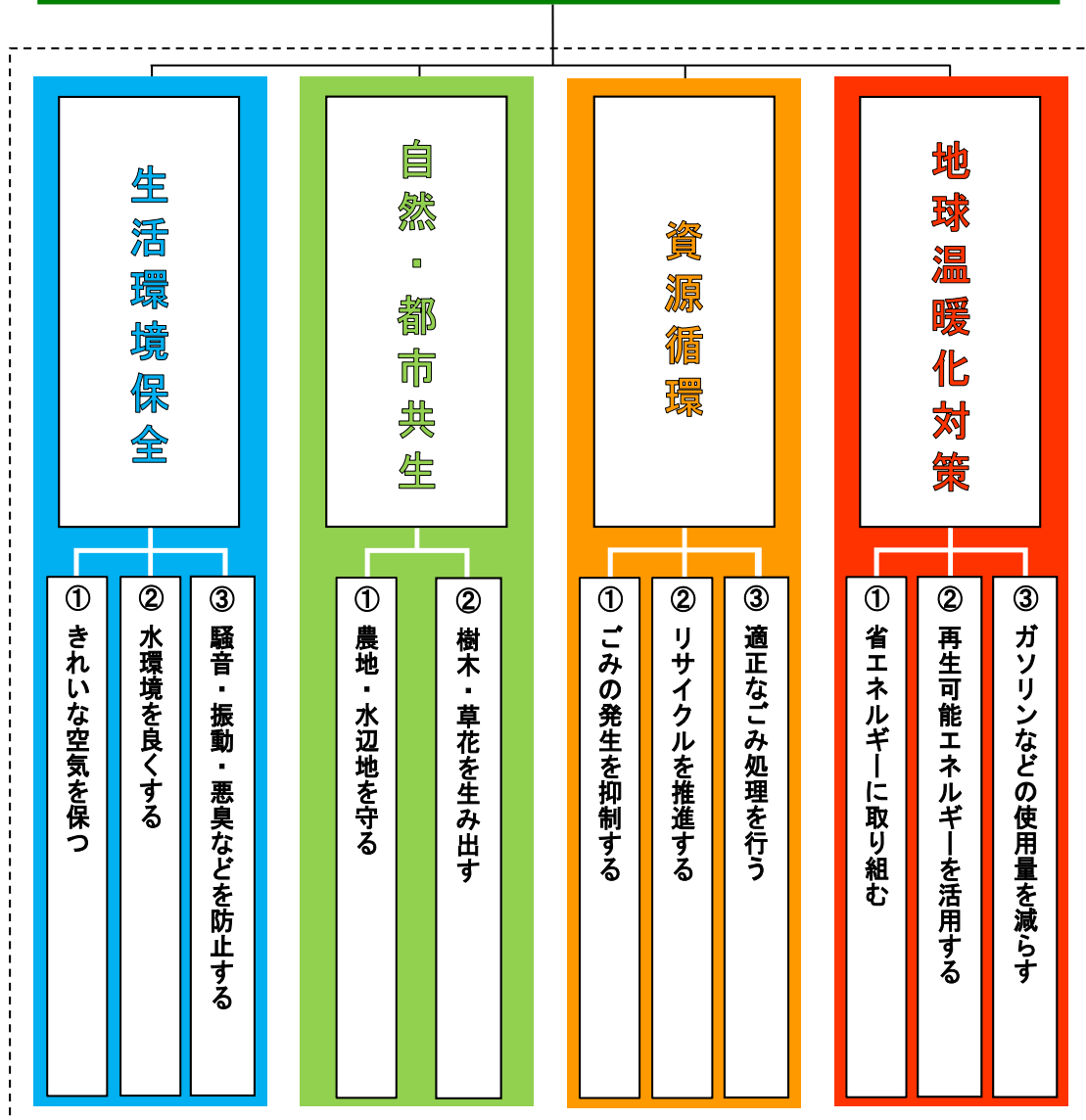
本報告書では、第2次計画で位置づけた4つの柱の目標への進捗状況と、令和5年度アクションプランの事業実績を掲載しています。

第2次安城市環境基本計画の体系

第2次計画では、理想とするまちを実現するため「生活環境保全」「自然・都市共生」「資源循環」「地球温暖化対策」の4つの柱と、それを支える土台として「環境学習・環境行動」を位置付けました。また、各柱・土台において分野別に基本的施策を定めています。

4つの柱と土台	基本的施策
柱1 生活環境保全	① きれいな空気を保つ
	② 水環境を良くする
	③ 騒音・振動・悪臭などを防止する
柱2 自然・都市共生	① 農地・水辺地を守る
	② 樹木・草花を生み出す
柱3 資源循環	① ごみの発生を抑制する
	② リサイクルを推進する
	③ 適正なごみ処理を行う
柱4 地球温暖化対策	① 省エネルギーに取り組む
	② 再生可能エネルギーを活用する
	③ ガソリンなどの使用量を減らす
土台 環境学習・環境行動	① 情報を発信する・収集する
	② 学ぶ・体験する
	③ 行動する

環境負荷の少ない、人と自然が共生しているまち



環境学習・環境行動

- ① 情報を発信する・収集する
- ② 学ぶ・体験する
- ③ 行動する

2 第2次安城市環境基本計画の進捗状況

生活環境保全

- 目的 人が安心して生活するため
- 状態 大気・水などが良好な状態にあること
- 指標

指標	基準年度 令和元年度 (2019年度)	最新値 令和5年度 (2023年度)	目標 令和12年度 (2030年度)
① 大気環境基準達成率	100%	100%	100%
② 水質環境基準達成率	64%	79%	100%
③ 道路騒音の要請限度達成率	100%	100%	100%
④ ダイオキシン類環境基準達成率	100%	100%	100%

自然・都市共生

- 目的 良好な自然環境を守るため
- 状態 農地・水辺地などの自然環境が保たれる適正な土地利用を行っていること
- 指標

指標	基準年度 令和2年4月 (2020年)	最新値 令和6年4月 (2024年)	目標 令和12年度 (2030年度)
① 都市公園の面積	100.21ha	103.18ha	↑
② 多面的機能活動対象区域面積率	90.3%	91.7%	↑
③ 多自然川づくり整備延長距離	6,600m	6,600m	↑

資源循環

- 目的 限りある資源を大切にするため
- 状態 廃棄物の減量、再利用、処理を適正に行っていること
- 指標

指標	基準年度 令和元年度 (2019年度)	最新値 令和5年度 (2023年度)	目標 令和12年度 (2030年度)
① 1人1日当たりのごみ排出量	924g/人・日	863g/人・日	↓
② 最終埋立処分量	5,875 t	4,270 t	↓

地球温暖化対策

- 目的 地球温暖化を緩和させるため
- 状態 二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量が少ない社会構造であること
- 指標

指標	基準年度 平成25年度 (2013年度)	最新値 令和3年度 (2021年度)	目標 令和12年度 (2030年度)
① 温室効果ガス排出量	2,590 千t-CO ₂	2,395 千t-CO ₂	1,398 千t-CO ₂

環境学習・環境行動

- 目的 4つの計画の柱を推進する環境意識を高めるため
- 状態 市民・事業者・行政が皆主体的に単独または協働で行動していること

3 令和5年度アクションプラン実績

柱1 生活環境保全



① きれいな空気を保つ

事業名	事業概要	指標	実績	担当課
大気汚染苦情処理対応	事業所等での違法焼却があった場合には、再発防止の指導を行い、大気汚染の再発防止及び適正な廃棄物処理の指導に努めます。	大気汚染苦情件数	52 件	環境都市推進課
環境保全協定（※）	環境保全協定締結事業所から、定期又は必要に応じて、締結された項目の数値の報告を受け、基準値超過の場合には、必要に応じて県と連携し、改善に向けた取組みを促進します。	環境保全協定締結事業所数	51 事業所	環境都市推進課
次世代自動車普及促進事業（※）	FCV や PHV などの次世代自動車を購入する市民や事業者に補助金を交付し、次世代自動車の普及を促進します。	次世代自動車購入費補助金交付件数	196 件	環境都市推進課
集合住宅向け電気自動車等充電設備普及促進事業（※）	集合住宅に充電設備を設置する管理組合や所有者に補助金を交付し、電気自動車等の普及を促進します。	集合住宅向け電気自動車等充電設備普及促進補助金交付件数	0 件	環境都市推進課
公用車の環境負荷軽減車への買換え事業（※）	公用車の買換え時に、次世代自動車等先進エコカーや燃費基準達成車を優先して購入し、環境負荷軽減を図ります。	購入した公用車台数	7 台	財政課
職場環境整備支援事業（※）	多様な働き方に対応する事業者のテレワーク、在宅勤務、WEB 会議システム等の導入を促進することで、自動車による通勤及び移動に係るガソリン使用量の削減を図ります。	職場環境整備支援事業補助金交付件数	3 件	商工課
あんくるバス運行事業（※）	あんくるバスを運行し、環境負荷の低減に効果的な公共交通による移動を促します。	あんくるバス利用人数	557,442 人	都市計画課

事業名の後ろに（※）が付いているものは、他の基本的施策にも掲載している事業です。

② 水環境を良くする

事業名	事業概要	指標	実績	担当課
環境保全協定 (※)	環境保全協定締結事業所から、定期又は必要に応じて、締結された項目の数値の報告を受け、基準値超過の場合には、必要に応じて県と連携し、改善に向けた取組みを促進します。	環境保全協定締結事業所数	51 事業所	環境都市推進課
環境保全講習会 (※)	市内の事業所向けに環境保全講習会を実施し、騒音・振動・悪臭に関する規制及び届出手続きの周知並びに油流出事故等の防止に向けた啓発を行います。	受講事業所数	54 事業所	環境都市推進課
油ヶ淵浄化デー事業	油ヶ淵水質浄化促進協議会において、7月の第4日曜日を「油ヶ淵浄化デー」と定め、近隣市と協働で、油ヶ淵周辺と半場川、長田川の清掃活動を行います。	参加人数	785 人	環境都市推進課
アクション油ヶ淵事業	油ヶ淵水質浄化促進協議会と協働で油ヶ淵の水質浄化啓発のためのイベントを行います。	参加人数	800 人	環境都市推進課
生活排水適正処理啓発事業・浄化槽適正管理啓発事業	生活排水処理基本計画に基づき、広報紙などで生活排水の適正処理及び浄化槽の適正管理の啓発を行います。	広報紙掲載回数	1 回	環境都市推進課
水質汚濁苦情処理対応	油流出事故や水路等の水質汚濁の通報により、流出防止、原因調査及び再発防止の対応をし、水質汚濁の防止に努めます。また、浄化槽を原因とする水質汚濁については県と連携し、浄化槽の保守管理等の指導支援を行います。	水質汚濁苦情件数	20 件	環境都市推進課
合併浄化槽普及事業	浄化槽設置整備事業補助金を交付し、合併処理浄化槽への転換を促進します。	補助金交付件数	3 件	環境都市推進課
油ヶ淵電子図書館事業	油ヶ淵水質浄化促進協議会が開設する油ヶ淵電子図書館において、油ヶ淵の水質や水質浄化等の情報を発信します。	油ヶ淵電子図書館での水質調査結果の公表	公表している	環境都市推進課
わくわくネイチャースクール事業	市内小学生を対象に、長野県根羽村で自然体験を行い、矢作川の水資源保全・森林保全について学ぶことで環境意識の向上を図ります。	参加人数	76 人	環境都市推進課
森林環境保全啓発イベント事業	木工体験などの木に触れる機会を通じて、根羽村の認知度向上を図り、矢作川の水資源保全・森林保全についての意識醸成を図ります。	森林環境保全啓発イベント参加者数	1,748 人	環境都市推進課

根羽村植樹祭市民参加事業	根羽村の植樹祭へ参加することにより、矢作川上流地域の水資源の涵養、森林資源保護育成の意識醸成を図ります。	参加人数など	コロナ禍のため実施せず	財政課
水源の森保全事業	矢作川上流にある根羽村の水源の森の遊歩道整備、作業路管理等を行い、健全な水源の育成を行います。	整備内容	木橋修繕遊歩道管理	財政課
下水道整備事業	下水道の整備を行うことで、生活環境の改善を図ります。	下水道普及率	83.2%	下水道課
下水道接続促進事業	下水道の使える区域において、下水道への接続促進を行うことで、生活環境の改善を図ります。	下水道接続率	93.1%	下水道課
下水道啓発事業	「下水道の役割」や汚水が処理場で浄化される仕組みなどについて、出前講座を行うことで、下水道の啓発を行います。	出前講座参加人数	12校 865人	下水道課
暮らしの中の水学習事業	郷土読本「安城」を使い、小学4年生に対し身近にある水について考える機会を作ります。	学習人数	1,726人	学校教育課
「安城 星と水の物語」投映事業	へきしんギャラクシープラザのプラネタリウムにて、オリジナル番組「安城 星と水の物語」を投映し、安城を潤す水の歴史を広めます。	学習投映回数	45回	生涯学習課



②水環境を良くする
【わくわくネイチャースクール事業】



②水環境を良くする
【下水道啓発事業】

③ 騒音・振動・悪臭などを防止する

事業名	事業概要	指標	実績	担当課
環境保全協定 (※)	環境保全協定締結事業所から、定期又は必要に応じて、締結された項目の数値の報告を受け、基準値超過の場合には、必要に応じて県と連携し、改善に向けた取組みを促進します。	環境保全協定締結事業所数	51 事業所	環境都市推進課
環境保全講習会 (※)	市内の事業所向けに環境保全講習会を実施し、騒音・振動・悪臭に関する規制及び届出手続きの周知並びに油流出事故等の防止に向けた啓発を行います。	受講事業所数	54 事業所	環境都市推進課
騒音・振動届出事業	騒音・振動発生施設を有する事業所、特定建設作業事業者から届出を受け、必要に応じて指導を行います。	届出受付件数	1,111 件	環境都市推進課
自動車騒音常時監視・道路騒音振動調査事業	市内の主要道路において自動車騒音などの測定を行い、騒音・振動が要請限度を超過している場合は、県公安委員会に道路交通法の規定による措置を執るよう要請します。	調査回数	1 回	環境都市推進課
騒音・振動・悪臭苦情処理対応	騒音・振動・悪臭苦情通報により、原因調査をし、違法性のある場合には、改善に向けた対応をとるように指導します。浄化槽を原因とする悪臭については県と連携し、浄化槽の保守管理等の指導支援を行います。	騒音・振動・悪臭苦情件数	60 件	環境都市推進課



② 水環境を良くする

【油ヶ淵浄化デー事業】 ごみ集積場と参加者の様子



① 農地・水辺地を守る

事業名	事業概要	指標	実績	担当課
農業後継者対策事業	農業後継者の育成につながる農業体験を行う市民団体の活動を支援し、農地の維持を推進します。	ボランティアグループの活動回数	11 回	農務課
都市農村交流事業	「ふれあい田んぼアート」を支援することで、田植え、稲刈り体験などを通じて都市と農村の交流を図り、農地保全の意識向上を図ります。	田んぼアートの実施参加人数	田植え 325 人 稲刈り 255 人	農務課
食育推進事業	農業体験など食育講座を行う市民団体の活動を支援することで、地元農産物や農業についてふれあう機会を創出し、農地の必要性についての意識向上を図ります。	農業体験・紙芝居上演などの活動回数	農業体験 3 回 紙芝居 17 回	農務課
地産地消推進事業	地元の農産物を載せたチラシの作成・配布や、イベント時の地元農産物や加工品の無料配布を通じて、地元農産物の PR を進め、農地の必要性についての意識向上を図ります。	まちなか産直市の実施回数	10 回	農務課
農地等多面的機能促進事業	農地の多面的機能の重要性を考慮し、農業の自然循環機能が維持増進できるよう、農地の保全を図ります。	活動組織数	34 組織	農務課
水田貯留推進事業	過去に浸水被害が発生した市街地の上流の田んぼで水田貯留を推進し、農地の多面的機能の活用を図ります。	水田貯留面積	324,427 m ²	土木課

② 樹木・草花を生み出す

事業名	事業概要	指標	実績	担当課
庁舎施設管理事業 (※)	市役所本庁舎の壁面緑化を行うことで、緑化推進に対する意識醸成を図ります。	庁舎壁面緑化実施の有無	実施済み	行政課
デンパーク・道の駅施設運営事業	市民をはじめ多くの来園者に快適な憩いの空間を提供し、花とみどりのある暮らしを提案します。	デンパーク来園人数	491,563 人	農務課

公園愛護会事業	公園愛護会による各公園の円滑な管理や環境美化を推進し、緑の保全を図ります。	愛護会数	104 団体	公園緑地課
街路樹愛護会事業	街路樹愛護会による街路樹の円滑な管理や環境美化を推進し、緑の保全を図ります。	愛護会数	48 団体	公園緑地課
樹林・樹木保全事業	樹林保全地区や保護樹木については緑化保全奨励金を交付し、また、松くい虫薬剤防除・松くい虫被害木自主駆除については補助金を交付することで、緑の保護を促進します。	保全地区面積	118,152 ㎡	公園緑地課
緑化木配布事業	緑化木を配布し、地域におけるみどりの育成と環境づくりを促進します。	緑化木配布本数	1,900 本	公園緑地課
ガーデニングコンテスト等支援事業	NPO 法人が開催するガーデニングコンテストやグリーンカーテンコンテストを支援し、花とみどりの普及促進を図ります。	ガーデニングコンテスト応募件数	104 件	公園緑地課
生垣設置等促進事業	生垣の設置及び駐車場の緑化について補助金を交付し、みどりの育成促進を図ります。	生垣設置等奨励補助金交付件数	4 件	公園緑地課
都市緑化推進事業	緑の街並み推進事業・市民参加緑づくり事業に対する補助金の交付を行い、市有地・民有地の建物及び敷地の緑化推進を図ります。	都市緑化推進事業補助金交付件数	6 件	公園緑地課



①農地・水辺地を守る

【農地等多面的機能促進事業】高棚環境向上委員会の活動の様子

柱3 資源循環



① ごみの発生を抑制する

事業名	事業概要	指標	実績	担当課
生ごみ処理機設置補助事業	処理機器の購入に対する補助金を交付し、ごみの減量化を促進します。	補助台数	171 基	ごみ資源循環課
乾燥生ごみ資源化促進事業（※）	家庭にて生ごみの処理を推進し、ごみの減量化を促進します。また、乾燥生ごみを野菜と交換し、ごみの再資源化を推進します。	乾燥生ごみ交換重量	3,902kg	ごみ資源循環課
ごみ減量支援プログラム事業	市民団体等による自主的なごみ減量啓発活動に対する支援を行います。	活動支援回数	35 回	ごみ資源循環課
リユース品販売事業	リユース可能な廃棄物を販売し、ごみの減量や意識の向上を図ります。	販売件数	140 件	ごみ資源循環課
食品ロス削減事業	フードシェアリングサービス「Anjo たべRing by タベスケ」を活用し、事業系食品ロスの削減を推進します。	削減量	2,980g	ごみ資源循環課

② リサイクルを推進する

事業名	事業概要	指標	実績	担当課
資源回収推進事業	集団資源回収に対して報償金を交付し、再生可能な資源の回収を図ります。	資源回収量	1,481 t	ごみ資源循環課
リサイクルステーション事業	リサイクルステーションで多くの種類の資源を効率よく回収し、再生利用を図ります。	資源回収量	2,417 t	ごみ資源循環課
乾燥生ごみ資源化促進事業（※）	家庭にて生ごみの処理を推進し、ごみの減量化を促進します。また、乾燥生ごみを野菜と交換し、ごみの再資源化を推進します。	乾燥生ごみ交換重量	3,902kg	ごみ資源循環課
ペットボトルリサイクル事業	ペットボトルを原料化（リサイクル）し、新しいペットボトルに再利用する「B to B リサイクル」の周知を図り、リサイクルを推進します。	業者引取り量	393 t	ごみ資源循環課
資源再生化事業	回収されたペットボトルやプラスチック製容器の資源化を行い、リサイクルの推進を図ります。また令和6年1月からは、プラスチック一括回収の開始により、容器包装以外のプラスチック製品も対象とします。	容器包装リサイクル協会又は認定を受けた再商品化事業者を通じて引き取ってもらう量	1,241 t	ごみ資源循環課

リサイクルプラザ施設 管理事業	市民が排出又は持ち込んだごみを受け入れ、適正に処理できるように施設を維持管理・運営し、リサイクルを推進します。	処理量	2,098 t	ごみ資源 循環課
せん定枝リサイクルプ ラント事業	せん定した枝葉をごみとして焼却するのではなく、たい肥を製造し、農家、市民に配布します。	たい肥の配布量 など	817 t	ごみ資源 循環課
再資源化処理事業	ごみ焼却に伴い発生した焼却灰を民間のリサイクル施設にて再資源化処理を行います。溶融化して無害化されたスラグを製造したり、セメント材料として利用することで建設土木資材としてのリサイクルを図ります。	焼却灰再資源化 量	2,378 t	ごみ資源 循環課

③ 適正なごみ処理を行う

事業名	事業概要	指標	実績	担当課
アダプトプログラム支 援事業	アダプト団体に対して支援を行い、環境美化に対する市民意識の高揚を図ります。	アダプト団体数	80 団体	ごみ資源 循環課
クリーンバス事業	市内小学 4 年生を対象にごみ処理施設などの見学を行い、ごみ処理の仕方を学びます。また、副読本を配布し学習を促進します。	受入学校数	21 校	ごみ資源 循環課
不法投棄対策事業	地域クリーン推進員の養成を通し、ごみステーションの管理を行うことで、不法投棄を予防します。 また、監視カメラを設置して不法投棄の抑制を図るとともに、不法投棄され処理に困っているものを処理します。	不法投棄パトロールにて回収した家電 5 品目の台数 など	76 台	ごみ資源 循環課
暮らしの中のごみ学 習事業	郷土読本「安城」を使い、小学 4 年生に対しごみ処理・回収・処理後の工夫を学習する機会を作ります。	学習人数	1,726 人	学校教育課

④ その他

事業名	事業概要	指標	実績	担当課
バイオマスプラスチック 25%配合ごみ袋作 成事業 (※)	バイオマスプラスチックごみ袋の導入によって、温室効果ガスの削減、石油資源の節約、循環型社会の形成及び市民の環境への意識向上を図ります。	製造枚数	1,393 万枚	ごみ資源 循環課

柱 4 地球温暖化対策



① 省エネルギーに取り組む

事業名	事業概要	指標	実績	担当課
スマートハウス普及促進事業（※）	蓄電池、HEMS などの省エネ機器を導入する市民に補助金を交付し、省エネ機器の普及を促進します。	スマートハウス普及促進補助金交付件数	310 件	環境都市推進課
省エネ最適化診断	事業所等のエネルギー診断サービスを受け、公共施設における効果的な省エネ対策のアドバイスや提案（費用不要の運用方法や投資改善を提案）を受けます。	実施施設数	2 施設	環境都市推進課
カーボンニュートラルな都市ガス供給事業	カーボンニュートラルな都市ガスを公共施設へ供給することで CO2 の削減を図ります。	カーボンニュートラルな都市ガス供給量	551,131 m ³	環境都市推進課
庁舎施設管理事業（※）	夏期に市役所本庁舎の壁面緑化を行うことで、室内温度の上昇を抑え、エアコンの消費電力量を削減します。	庁舎壁面緑化実施の有無	実施済み	行政課
カーボンニュートラル対応セミナー事業	事業者向けのセミナーを実施することで、省エネ等に関する情報提供・取組みへの動機づけを図り、企業の持続可能性を高めます。	参加人数	8 名	商工課
カーボンニュートラル推進事業（※）	温室効果ガスを削減する取組（省エネ設備への更新等）を行う中小企業者に補助金を交付し、カーボンニュートラル達成を促進します。	カーボンニュートラル推進事業補助金交付件数	10 件	商工課

② 再生可能エネルギーを活用する

事業名	事業概要	指標	実績	担当課
スマートハウス普及促進事業（※）	太陽光発電システム、燃料電池システムなどの再エネ機器を導入する市民に補助金を交付し、再エネ機器の普及を促進します。	スマートハウス普及促進補助金交付件数	310 件	環境都市推進課
廃棄物エネルギー地産地消事業	環境クリーンセンターの廃棄物焼却により発電される余剰電力を利用し、公共施設へ CO2 フリー電力を供給することで CO2 の削減を図ります。	CO2 フリー電力供給量	2,676,783kW h	環境都市推進課

カーボンニュートラル推進事業（※）	温室効果ガスを削減する取組（太陽光発電システムの導入）を行う中小企業者に補助金を交付し、カーボンニュートラル達成を促進します。	カーボンニュートラル推進事業補助金交付件数	10 件	商工課
ごみ焼却余熱有効利用事業	ごみ焼却に伴い発生する蒸気を隣接するプールの熱源として活用したり、蒸気タービンにて発電を行い、場内で使用後の余剰電力は売却を行います。	発電量	13,853,490 kWh	ごみ資源循環課

③ ガソリンなどの使用量を減らす

事業名	事業概要	指標	実績	担当課
次世代自動車普及促進事業（※）	FCV や PHV などの次世代自動車を購入する市民や事業者に補助金を交付し、次世代自動車の普及を促進します。	次世代自動車購入費補助金交付件数	196 件	環境都市推進課
集合住宅向け電気自動車等充電設備普及促進事業（※）	集合住宅に充電設備を設置する管理組合や所有者に補助金を交付し、電気自動車等の普及を促進します。	集合住宅向け電気自動車等充電設備普及促進補助金交付件数	0 件	環境都市推進課
公用車の環境負荷軽減車への買換え事業（※）	公用車の買換え時に、次世代自動車等先進エコカーや燃費基準達成車を優先して購入し、環境負荷軽減を図ります。	購入した公用車台数	7 台	財政課
職場環境整備支援事業（※）	多様な働き方に対応するテレワーク、在宅勤務、WEB 会議システム等の導入を促進し、自動車による通勤及び移動に係るガソリン使用量の削減を図ります。	職場環境整備支援事業補助金交付件数	3 件	商工課
あんくるバス運行事業（※）	あんくるバスを運行し、環境負荷の低減に効果的な公共交通による移動を促します。	あんくるバス利用人数	557,442 人	都市計画課

④ その他

事業名	事業概要	指標	実績	担当課
バイオマスプラスチック 25%配合ごみ袋作成事業（※）	バイオマスプラスチックごみ袋の導入によって、温室効果ガスの削減、石油資源の節約、循環型社会の形成及び市民の環境への意識向上を図ります。	製造枚数	1,393 万枚	ごみ資源循環課



① 情報を発信する・収集する

事業名	事業概要	指標	実績	担当課
TASKI プロジェクト事業	中部環境先進 5 市である多治見、安城、新城、掛川、飯田の各市の取り組みを発表し、ウェブサイトで情報を発信します。	実施結果	実施済み	環境都市推進課
カーボンニュートラルブック作成事業	家庭におけるカーボンニュートラルに向けた具体的な行動やそれに伴うCO2排出削減量等をまとめた広告を作成し、市民の環境意識を高めます。	発行部数	80,000 部	環境都市推進課

② 学ぶ・体験する

事業名	事業概要	指標	実績	担当課
エコきち環境学習事業	柿田公園管理事務所エコきちにて、木材を使用した遊びやエコクッキングなど、身近な環境学習の PR・啓発に取り組めます。	事業実施回数	142 回	環境都市推進課
環境講演会事業	市民向けの環境講演会を行い、環境意識を高めます。	参加人数	359 人	環境都市推進課
公民館講座事業	各公民館において環境に関する講座を実施し、環境意識を高めます。	環境に関する講座実施回数	11 回	生涯学習課

③ 行動する

事業名	事業概要	指標	実績	担当課
環境学習協働事業	NPO 地球温暖化対策地域協議会エコネットあんじょうと連携し、自然体験やごみ減量対策事業など様々な環境事業を実施し、環境意識の向上を図ることで、環境活動を促進します。	事業実施回数	40 回	環境都市推進課

4 課別一覧表

※ 生活環境保全＝「生」、自然・都市共生＝「自」、資源循環＝「資」、地球温暖化対策＝「地」、
環境学習・環境行動＝「学」

【 環境都市推進課 】

大気汚染苦情処理対応	生	自	資	地	学
環境保全協定	生	自	資	地	学
次世代自動車普及促進事業	生	自	資	地	学
集合住宅向け電気自動車等充電設備普及促進事業	生	自	資	地	学
環境保全講習会	生	自	資	地	学
油ヶ淵浄化デ－事業	生	自	資	地	学
アクション油ヶ淵事業	生	自	資	地	学
生活排水適正処理啓発事業・浄化槽適正管理啓発事業	生	自	資	地	学
水質汚濁苦情処理事業	生	自	資	地	学
合併浄化槽普及事業	生	自	資	地	学
油ヶ淵電子図書館事業	生	自	資	地	学
わくわくネイチャースクール	生	自	資	地	学
森林環境保全啓発イベント事業	生	自	資	地	学
騒音・振動届出事業	生	自	資	地	学
自動車騒音常時監視・道路騒音振動調査事業	生	自	資	地	学
騒音・振動・悪臭苦情処理対応	生	自	資	地	学
スマートハウス普及促進事業	生	自	資	地	学
省エネ最適化診断事業	生	自	資	地	学
カーボンニュートラルな都市ガス供給事業	生	自	資	地	学
廃棄物エネルギー地産地消事業	生	自	資	地	学
TASKI プロジェクト事業	生	自	資	地	学
エコきち環境学習事業	生	自	資	地	学
環境講演会事業	生	自	資	地	学
環境学習協働事業	生	自	資	地	学
カーボンニュートラルブック作成事業	生	自	資	地	学

【 行政課 】

庁舎施設管理事業	生	自	資	地	学
----------	---	---	---	---	---

【 財政課 】

公用車の環境負荷軽減車への買換え事業	生	自	資	地	学
根羽村植樹祭市民参加事業	生	自	資	地	学
水源の森保全事業	生	自	資	地	学

【 農務課 】

農業後継者対策事業	生	自	資	地	学
都市農村交流事業	生	自	資	地	学
食育推進事業	生	自	資	地	学
地産地消推進事業	生	自	資	地	学
農地等多面的機能促進事業	生	自	資	地	学
デンパーク・道の駅施設運営事業	生	自	資	地	学

【 商工課 】

職場環境整備支援事業	生	自	資	地	学
カーボンニュートラル対応セミナー事業	生	自	資	地	学
カーボンニュートラル推進事業	生	自	資	地	学

【 ごみ資源循環課 】

生ごみ処理機設置補助事業	生	自	資	地	学
乾燥生ごみ資源化促進事業	生	自	資	地	学
ごみ減量支援プログラム事業	生	自	資	地	学
リユース品販売事業	生	自	資	地	学
食品ロス削減事業	生	自	資	地	学
資源回収推進事業	生	自	資	地	学
リサイクルステーション事業	生	自	資	地	学
ペットボトルリサイクル事業	生	自	資	地	学
資源再生化事業	生	自	資	地	学
リサイクルプラザ施設管理事業	生	自	資	地	学
せん定枝リサイクルプラント事業	生	自	資	地	学
再資源化処理事業	生	自	資	地	学
アダプトプログラム支援事業	生	自	資	地	学
グリーンバス事業	生	自	資	地	学
不法投棄対策事業	生	自	資	地	学
バイオマスプラスチック 25%配合ごみ袋作成事業	生	自	資	地	学
ごみ焼却余熱有効利用事業	生	自	資	地	学

【 土木課 】

水田貯留推進事業	生	自	資	地	学
----------	---	---	---	---	---

【 都市計画課 】

あんくるバス運行事業	生	自	資	地	学
------------	---	---	---	---	---

【 公園緑地課 】

公園愛護会事業	生	自	資	地	学
街路樹愛護会事業	生	自	資	地	学
樹林・樹木保全事業	生	自	資	地	学
緑化木配布事業	生	自	資	地	学
ガーデニングコンテスト等支援事業	生	自	資	地	学
生垣設置等促進事業	生	自	資	地	学
都市緑化推進事業	生	自	資	地	学

【 下水道課 】

下水道整備事業	生	自	資	地	学
下水道接続促進事業	生	自	資	地	学
下水道啓発事業	生	自	資	地	学

【 学校教育課 】

暮らしの中の水学習事業	生	自	資	地	学
暮らしの中のごみ学習事業	生	自	資	地	学

【 生涯学習課 】

「安城 星と水の物語」投映事業	生	自	資	地	学
公民館講座事業	生	自	資	地	学

=====

安城市 環境部 環境都市推進課

〒446-8501 愛知県安城市桜町18番23号

TEL：0566-71-2280（直通）

FAX：0566-76-1112

=====